

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	子育てサポート施設あひだ保育園	公表日	令和7年 4月 30日		
	チェック項目	はい	いいえ	不足している点	改善や対策があれば
環境・体制	1 利用者が就業支援等のニーズとの関係が適切であるか。	5			
	2 利用支援やこどもの状態等に対して、職員が配置は適切であるか。	5			
	3 生活支援は、こどもにわかりやすい構成化された環境になっているか。また、事業所の設備は、職員が適切に、パソコン操作や情報機器、写真などの操作が適切に行われているか。	3	2		トイレの備品が壊れて修理されていることが多いため、対策したいです
	4 生活支援は、清潔で、心身よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動にはおはらきなどがあるか。	2	3		掃除機等で仕切りを作っています
	5 必要に応じて、こどもや職員が活動や遊びを促すことが図られているか。	5			子どもたちの活動に合わせた、職員も促すことができるようにしています
施設・設備	6 事業所の安全を確保するためのBCA（防災）（設備点検と巡回）に、広く職員が参加しているか。	5			月に1回以上職員全員が参加しています
	7 設備点検が適切に行われ、設備点検の結果を把握する機会が設けられているか。その結果を職員に伝えているか。	4	1		できる範囲で改善しています
	8 職員が設備点検する機会が設けられており、その結果を職員に伝えているか。	5			職員が設備点検を実施しているが、それ以上に設備点検のやり方などで改善できるように心がけています
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を職員に伝えているか。	5			「施設 第三者による外部評価は行っていませんが、オンラインで法人管理費による法人内外部評価を行っています
	10 職員の業務の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内研修を実施する機会が設けられているか。	5			研修検討会や業務の振り返りについて取り組んでいます
適切な支援	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	5			支援プログラムは職員・保護者へ周知しています
	12 そのほかこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもの発達特性のニーズや課題を把握し、対応し、支援等アセスメントに基づき作成しているか。	5			適切なアセスメントができようとする意識を職員に持たせています
	13 支援等アセスメントに基づき作成した支援計画は、就業支援管理責任者が作成し、こどもの発達特性や課題を把握し、こどもの活動の進捗を把握した上で実行されているか。	5			児童一人ひとりの発達を把握しています
	14 支援等アセスメントに基づき作成した支援計画は、計画に沿って実行されているか。	4	1		今後もスタッフ全員で取り組んでまいります
	15 こどもの発達特性や課題を、標準化されたツールを用いたアセスメントや、日々の観察記録や観察シート（アセスメント）を用いて把握し、支援計画を作成しているか。	5			
実効性	16 支援等アセスメントに基づき作成した支援計画は、支援等アセスメントの「目標」「目的」「内容」「方法」を明確にし、日々の支援に必要十分な支援が提供されているか。その上で、関係者へ周知が図られているか。	5			
	17 支援プログラムの効果をチームで行っているか。	4	1		リーダーが立てたものを共有し、確認し合っています
	18 支援プログラムが変更をしないよう工夫しているか。	5			
	19 こどもの状態に応じて、個別支援と集団支援を適切に組み合わせて支援等アセスメントを作成し、実行されているか。	5			
	20 支援計画には職員間で必ず十分な話し合い、その目的や支援の内容や役割分担について話し合い、チームで連携して実行されているか。	5			
関係者との連携	21 事業所では、職員間で日々の話し合い、その目的や支援の内容や役割分担について話し合い、連携して実行されているか。	5			
	22 日々の支援に際しては職員とこどもを連携し、支援の状況・改善につなげられているか。	5			
	23 定期的にミーティングを行い、支援等アセスメントの進捗の把握や確認し、関係者へ周知しているか。	5			
	24 支援等アセスメントの「4つの基本原則」を職員全員が理解しているか。	5			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する機会が設けられているか。	4	1		職員の間から自己選択できる声が出ています 活動を選択して自分で行っています
関係者との連携	26 就業支援事業所のサービス提供の質や関係機関との連携、そのほかの就業支援に関する取り組みが適切に行われているか。	5			
	27 地域の保健、医療（生活支援や介護支援等）、障害福祉、教育、労働等の関係機関と連携して支援を行う体制が整っているか。	3	2		利用者が通う小学校の先生と情報交換をしたり支援をしながら支援を行っています
	28 学校との連携関係（特別支援、行事予定等の交換、こどもの学習記録の共有）、地域連携（生活支援、トピア活動等の実施）を適切に行っているか。	5			その関係先に確認しながら進めています
	29 国語科に利用している学習者や職員、認定こども園、就業支援事業所等との関係が適切に保たれているか。	4	1		児童によって活動シートを運用しています
	30 学校を卒業し、支援等アセスメントが卒業後継続して実施されるか。それまでの支援内容の継続を促しているか。	3	2		小児科の医師と、児童科の医師と連携して継続して実施しています
関係者との連携	31 地域の就業支援センターとの連携関係、必要に応じてスーパーバイザーや職員の研修を受ける機会が設けられているか。	2	3		就業支援センターと連携して取り組まれているが、研修は行っていません
	32 就業支援センターや関係機関との連携、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		地域の活動で新しい活動のアイデアと連携して進めることがありますが
	33 「自立支援」協議会や「関係者」に参加しているか。	1	4		
	34 国語科のこどもが就業支援センターと連携し、こどもの発達特性や課題について連携しているか。	5			活動の進捗を確認してサポート等で共有し、支援しています
	35 事業所の関係者や関係機関から、関係者に対して就業支援プログラム（ヘルプシート・トレーニング等）や就業支援に関する研修の機会や情報提供を行っているか。	5			
関係者との連携	36 就業支援、支援プログラム、就業支援について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37 支援等アセスメントに基づき作成した支援計画は、こどもや職員の活動の進捗、こどもの活動の進捗や課題を把握し、こどもや職員の活動の進捗を把握しているか。	5			
	38 「支援等アセスメント」を示しながら支援計画の実行を行い、職員から支援等アセスメントに基づき作成した支援計画を把握しているか。	5			
	39 事業所からの子どもや職員に対する適切な対応に、必要十分な支援を行っているか。	5			
	40 父母の会の活動を支援することや、就業支援を促すことにより、就業支援で交流する機会が設けられているか。また、必要に応じて就業支援に関する機会が設けられているか。	3	2		年1回の親子交流活動のみならず、他の就業支援で交流する機会も考えています
関係者との連携	41 こどもや職員からの活動について、対応の進捗を把握することや、こどもや職員からの活動について、関係者へ周知が適切に行われているか。	5			
	42 定期的に連絡を行っていることや、関係者へ周知することにより、活動の進捗を確認し、関係者へ周知が適切に行われているか。	4	1		
	43 法人関係の活動に十分参加しているか。	5			
	44 関係のあるこどもや職員と関係機関や関係者とのための連携を行っているか。	5			
	45 事業所の行状や活動状況を把握する際、地域に開かれた事業運営を行っているか。	1	4		
関係者との連携	46 地域と連携し、就業支援センター、関係機関、関係者との連携が適切に行われているか。	5			
	47 就業支援センター（法人）と連携することや、関係機関の活動に協力し、定期的に連絡、必要十分な支援を行っているか。	5			
	48 国語科、就業支援センター、関係機関との関係が適切に行われているか。	5			
	49 国語科のこどもや職員との関係について、関係機関に働きかけが適切に行われているか。	5			
	50 安全対策を推進し、安全管理の必要に応じて関係機関、その他の関係機関と連携し、必要十分な支援を行っているか。	5			
関係者との連携	51 こどもの安全確保に関して、就業支援の活動が適切に行われよう、安全対策に関する関係機関について、関係者へ周知しているか。	5			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた取り組みについて共有しているか。	5			
	53 危険を排除するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか。	5			
	54 こどもや職員からの活動について、対応の進捗を把握することや、こどもや職員からの活動について、関係者へ周知が適切に行われているか。	5			
	55 就業支援センターや関係機関との連携が適切に行われているか。	5			